

震災で妹亡くした宮城県出身の映像作家の映画 高知市で上映

2022.7.24(日) NHK



東日本大震災で妹を亡くした、宮城県出身の映像作家が制作した映画を上映する催しが24日、高知市で開かれました。

宮城県出身の映像作家、佐藤そのみさん(26)は、東日本大震災で多くの児童と教職員が犠牲となった、石巻市の大川小学校に通っ

ていた妹を亡くし、みずからの経験をもとに映画を制作しています。

佐藤さんの作品を上映する催しが、東北地方以外では初めて高知市で行われ、ドキュメンタリーと映画の2つの作品が上映されました。

このうち『あなたの瞳に話せたら』は、大川小学校で家族や友人を亡くした人たちが、震災後の自身の気持ちの変化や現在を生きる思いなどをつづった手紙の朗読を通して、遺族などの思いを伝えるドキュメンタリーです。

また、震災で妹を亡くした2人の中学生のそれぞれの気持ちの変化を描いた映画も上映されました。

上映のあと、作品を手がけた佐藤さんが登壇し、「直接的に防災のことを伝える作品ではないが、震災を経験した人がどう前に進んできたのか考えてもらいたい」などと語っていました。

映画を見た越知町の50代の女性は「被災後、大人も大変で、子どもたちもつらくてもつらいと言えない状況の中、どう震災に向き合ってきたか、人間の強さを感じられる作品だと思いました」と話していました。